

## 仏像の修復技法 牧之原で作業体験

静岡文化芸術大生

文化財や山車の修復を手掛ける「静波伝統技法研究社」(牧之原市静波)は28日、静岡文化芸術大の学生を招き、現在修復中の仏像を使用した作業体験を実施した。

修復する仏像は、台風で全壊した磐田市のお堂で見つかった阿弥陀(あみだ)如来。同社が4年前から修復作業をしていて、完了後は聖壽寺(同市岡)に安置されるという。

静岡文化芸術大で建築・工芸を学ぶ学生3人が同社の作業場を訪

れ、仏像と台座の接合部を三角刀で彫った

り、彫り込んだ部分を

漆と小麦粉、木粉を混

ぜた「刻苧(こくそ)」

で埋めたりして、伝統

的な修復工程を学ん

だ。作業に当たった神

戸千奈さん(3年)は

「昔ながらの技法が現

代に通用していること

に驚いた。仏像に新た

な命を吹き込む作業に

携わることができてよ

かった」と話した。



仏像の修復作業に取り組む学生  
＝牧之原市の静波伝統技法研究社